

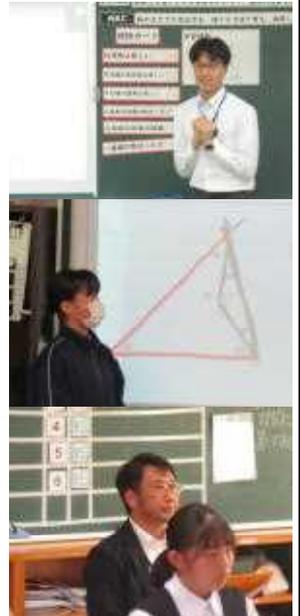


東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和5年11月10日（金）No.27発行
文責：松本 卓也

私たちも勉学の秋です！！ ～教師修養 授業研究会編～

27日（金）、八代市教育委員会からH指導主事兼保健体育係長をお招きし、2年生の数学科で研究授業を行いました。授業者はY教諭。今年度は、本校に赴任した期待の若手教職員です。本時のめあては、「へこみのある四角形の角の大きさの求め方を、さまざまな方法で考え、説明しよう」、これが学習した図形の性質を根拠に、論理的な説明ができるようになることが目標です。まずは、個人思考。対頂角や平行線の同位角・錯角、三角形の内角・外角等、既習事項を活用して学習課題にチャレンジします。次に、グループ内でそれぞれの考えを共有し、学習者用タブレット端末で発表資料を作成しました。「どのような考え方で解いたか？」対話をしながら図の角の性質をもとにして導き出したことを電子黒板を活用しながら発表していただきました。子どもたちの感想には、「それぞれの班で考え方が全然違うと思いました。」「3班の考え方は、私は思いつけなかったのですごくいいと思いました。」と、答えを見出すための方法がたくさんあることに気づいていました。主体的に自分の考えを伝え合い、考えを深めていく授業でした。授業研究会では、H指導主事兼保健体育係長から、良かった点として「すべての子どもが意欲的に課題に取り組んでいた」「自分が思ったことを言える雰囲気があった」、検討したい点として、「子どもの発言を踏まえたまとめがよかった」、今後の授業改善に向けて、「『単元のゴールの姿』の考え方」「授業における『教師のファシリテート力』」「ICTの効果的活用法」等、本校の研究や子どもたちの学びの姿について多くの指導助言をいただきました。



8日（水）東陽小中合同研修の一環として、小学校2・3年生（複式学級）の研究授業（国語）に参加させていただきました。2年生は「〈作り方〉のせいづめいには、分りやすくするためにどんなふうがあるのだろう」、3年生は「『中』の例示を筆者がこの順番にしたのには、どんなふうがあるのだろう」のめあてのもと、自分たちで主体的に課題解決に取り組む姿に感心しました。授業者は、課題把握や解決の手立ての見通しを持たせる場面、学習を深めたり内容の定着を図る場面では前面に出て指導しますが、それ以外は学習リーダーの進行により自主的に授業が進められており、「熊本の学び」の理念である能動的に学び続ける姿を見ることができました。参観された熊本県教育委員会のH指導主事からも、「主体的な学びにつなげるためのさまざまな工夫があり、学習者としての自立した姿を至るところで見ることができた」との指導助言をいただきました。小・中合同研究テーマ「主体的な学び、自分の思いや考えを伝え合いながら、確かな学力を身につけた児童の育成」を目指し、さらに授業改善を行っていきます。



世界に一つだけのお弁当ができました！

6日（月）は「お弁当の日」。昼食時間にお邪魔すると、いつも以上に子どもたちの嬉しそうな笑顔がいっぱいみられました！！（2年教室では、ジェシー先生と一緒に食べていました！）感想には、「朝早くから起きてお弁当を作るの大変だったけど、楽しかったです。母の大きさを改めて実感しました。」と感謝の気持ちが、ご家族からは、「自分の考えていた通りに出来たようです。たまには、私たちの分まで作ってくれと嬉しいですね。」との温かいメッセージが書かれていました。お弁当を通して健康を考えることができました。



地域レベルの国際交流を ～JETプログラム～

6日（月）、熊本県観光国際政策課のT参事、八代市教育委員会のT指導主事が来校し、3年生英語の授業を参観されました。JETプログラムにより赴任されたALTの先生方が、新しい環境に慣れたか？確認をするために行われたものです。授業では、子どもたち一人一人に温かな助言があり、信頼関係を感じました。ジェシー先生は、もともと日本の文化や文学に興味があり、「ジブリ作品」や「万引き家族（是枝監督）」が好きだそうです。もともと日本を好きになってもうよう、さらに交流を深めたいと思います。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）